



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：熊谷 健 副会長：井上 修 幹事：小椋文成 公共イメージ向上委員長：太田明良

	2024-2025 国際ロータリーのテーマ ロータリーのマジック	2024-2025 RI会長 ステファニー A. アーチック ＜米国ペンシルバニア州＞	
第1738回例会 令和7年5月13日(火)			

■ 点 鐘 12 : 30

■ ソング 君が代・奉仕の理想・四つのテスト 加藤篤ソングリーダー



■ 会長談話 熊谷健会長



4月22日以来3週間ぶりの例会となります。会長就任前から、ロータリークラブにどっぷりと浸かり1年以上の時間が過ぎてしまいましたが、この3週間はロータリークラブのことをほとんど考えず、ゆっくりと過ごすことができました。

さてそこで、会長談話ですが、話す内容がスッと抜けてしまいました。夕べから何を話そうか考えあぐねていたのですが、全く浮かびません。迷った挙句、好きな詩人の話をしようと思います。

知っている人は知っていると思いますが、私は時々、元の警察署の前のスーミンというライブハウスでギターで弾き語りをしています。ささやかな趣味ですが、そこでたまに歌う歌で「私が一番きれいだったとき」という歌があります。日本の戦後の女流詩人として有名な茨木のり子さんの詩を、アメリカのフォークブルース（トラディショナルなアメリカ民謡とでも言いますが）、その曲に乗せて歌っています。

茨木のり子さんは、大正15年に生まれ、多感な少女時代を戦時下で過ごしています。在学時代に男子の多くが学徒出陣で戦場へ駆り出され、茨木さんも薬品工場に勤労働員され、度々空襲にも遭います。終戦を迎えたのは、19歳の時でした。

「私が一番きれいだったとき、街々はガラガラと崩れていって、とんでもないところから、青空なんかが見えたりした。」この詩は、こういって始まります。

それから「私が一番きれいだったとき、まわりの人たちがたくさん死んで、私はオシャレのきっかけをなくしてしまった」と。また、「誰も私に贈り物なんてくれなかった」と。「男たちは皆、拳手の礼しか知らなかった。そしてきれいな眼差しを残して死んでいった。」と続きます。

戦争は、敗戦という形で終止符を打ちます。戦争に青春を捧げた少女が目にしたのは、変わり果てた街の姿でした。「私が一番きれいだったとき、私の国は戦争で負け、こんなバカなことってあるだろうか、私はブラウスの腕をまくり卑屈な街をのし歩いた。」

そして、茨木さんが感じたのは、敗戦と同時に手のひらを返したように民主主義に熱狂していく日本人の姿でした。「私が一番きれいだったとき、ラジオからはジャズが溢れた。禁煙を破ったときのようにクラクラしながら、私は異国の甘い音楽をむさぼった。」

敗戦によって、今までの常識がひっくり返り、人々が民主主義に熱狂していく姿を見ながら、茨木さんは「何で？」という気持ちを強く持ちました。

民主主義の下で生まれ育ってきた私たちには想像しがたいのですが、軍国主義教育の中で育った茨木さんにとって、違和感を覚えるものでした。

歴史的に見ても、民衆の熱狂の果てにはロクな結末はありません。ヒトラーのナチスドイツがそれを象徴しています。現在のトランプ政権の誕生にもそれに近いものがあると思いますし、ヨーロッパの各国で極右政権が民衆に支持されるのも、いわゆる民衆の熱狂と集団への同調主義が根底にありそうです。

茨木さんは、「本当に自分の目で見て、自分の頭で考えること。そして、そのために自分の感受性を磨くこと。」を、詩を通じて唱え続けました。79歳で亡くなるまで、実に凛々しく生き抜かれたそうです。

後年に書いた詩に「自分の感受性くらい」という詩があります。その詩は、最後に「自分の感受性くらい自分で守れ ばかものよ」とつづっています。

自分がばかものなのか、どうか？自分でしっかりと考えているのかどうか？常に自問自答していくことが大切だと感じています。

■ 慶 祝

5月誕生祝い

・清水吉治会員 ・太田明良会員 ・橋場正尚会員 ・笹川美郎会員 ・井上修会員 ・宮澤友浩会員



■ ニコニコボックス

- ◆熊谷健 みなさん お久しぶりです。私の年度もあと2か月を切りました。ラストスパートを切りますので、みなさんご協力をお願い致します。
- ◆小椋文成 本日、地区協報告と次年度の引継ぎなど慌ただしい予定ですが、ご協力いただきますようお願いします。
- ◆伊藤かおり 皆様お久しぶりです。5月生まれの皆様、おめでとうございます。本日は「お米」をお祝品とさせて頂きました。
本日の例会、よろしくお願い致します。
- ◆井上修 インターアクト全国大会に出席させて頂きました。131人の参加で、高校生や顧問教師は元より、国際ロータリー理事・水野功氏、TRF管理委員・三木明氏ほか、全国のガバナー、ガバナーエレクトが多数参加され、新しい知己を得て、ロータリーへの理解が深まりました。私は末席で出番がなく、唯一、ガバナーナイトの二次会で、松本の推薦のクラブ、卑弥呼に10人、ご案内しました。

■ 幹事報告

小椋文成幹事

幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・4月17日（木）上伊那グループ最終会長・幹事会の報告 熊谷健会長

去る4月17日、箕輪町の韓国小皿料理のお店「サランバン」にて、第3回の上伊那グループ会長幹事会があり、小椋幹事とともに出席してきました。サランバンというお店は、辰野ロータリークラブ増澤会長の経営する店です。

本年度最後の会議ということで、各クラブから事業の進捗状況の報告がありました。当クラブも報告をし

ました。他のクラブの意見の中で、辰野ロータリークラブと箕輪ロータリークラブでは、上伊那グループのガバナー補佐の選出がなかなか難しい状況であるとの報告を受けました。

・4月20日（日）第32回インターアクト地区研修協議会 兼 地区インターアクト委員会 及び 第12回全国インターアクト研究会・長野会議実行委員会の報告 井上修地区インターアクト委員



首題の件、4月20日（日）、松本勤労者センターで10時から17時まで開催されました。参加者はインターアクト生、顧問、ロータリアンで80名弱。伊那西高校は会長、副会長、顧問の3名。活発な発表、討論会が行われました。

我々は、この25日に始まる全国インターアクト研究会・長野会議に向けてホットな打合せがありました。



・4月25日（金）～27日（日）ガバナーナイト、第12回全国インターアクト研究会・長野会議の報告 井上修地区インターアクト委員

首題の件、2泊3日で松本のブエナビスタを中心に行われました。参加者は131人。特筆すべきは高校顧問教師が17名、高校生が15名全国各地から（伊那西高の研修先 伊豆総合高校、札幌龍谷、松本第一、白馬、所沢東、松本国際）参加されておられた事です。国際ロータリー理事 水野功氏、TRF 管理委員 三木明氏を来賓に迎え（お二人が揃ってご出席されるのは稀有な事とか）、お二人の今後のロータリアンの理想の姿や、ロータリー活動の本質を語る示唆に富むご挨拶より始まりました。講演が宮崎のロータリアンである勢井由美子さんで、東日本大震災や能登の地震で家族を失った子供達に寄り添う話で、会場のロータリアンからすすり泣きが聞こえる感動の内容でした。因みに彼女は感動したインターアクト活動で伊那西高校の活動（留学生交流会等）を紹介されていました。

本会の前日に、ガバナーナイトと称し、全国からガバナーやガバナーエレクトを招き夕食会が行われました。※清水先生、伊豆総合のお二人にご挨拶が叶いました。



・「ロータリーの友」5月号紹介 田中真人会員



今月は青少年奉仕月間ということで、RI 会長メッセージは青少年プログラムの力を実感した瞬間について体験談が書かれています。

特集として「ミライへの扉を開く」というテーマで東京八王子 RC の取り組みが書かれています。当 RC は小中高生を対象とした教育事業に注力していて、子供達の好きをデジタル教育で支える市立小宮小学校の取り組みから 21 年 11 月に第 1 回プログラミングコンテストを開催する運びとなりました。このプログラミングコンテストは昨年まで計 4 回開催されましたが、第 1 回は 34 件だったのが第 4 回は 840 件もの応募があったということで、事業が順調に拡大しているのが実感されます。当 RC では夢を大きく描き小さな一歩を踏み出すことが重要と伝えています。ロータリーの枠に閉じこもらずに大きな夢に向かって活動し、地域とも一体となって時代に即した支援を担って欲しいと書かれています。

S P E E C Hでは岡山 RC の川上憲人さんによる「企業・組織におけるメンタルヘルスはなぜ大事か」というテーマの特別講演の様子が書かれています。メンタルヘルスによる精神疾患は周囲からの理解が得られにくいこと、受診率の低さ、誤解や偏見も多いのが課題ですが、企業組織においては社会的・経済的損失もあり、2008 年の統計では精神疾患により働けなくなった労働力損失が 6.6 兆円と計算されており大きな課題とされています。それを改善するためのポジティブメンタルヘルスの事例として従業員 150 人の IT 系企業の取り組みが書かれています。社員から人気ある会社づくりをしたいとの思いから部署や年齢を超えた有志が集まって課題を検討・改善する委員会を立ち上げたところ「会社が好き、楽しい」と言う社員が出て来て離職率の減少につながり、メンタルヘルス不調者も減って業績も伸びたとのこと。その他にも事例が書かれていますが、締めには川上さんはポジティブメンタルヘルスを進めることは人的資本や健康経営に繋がり企業・組織にとってプラスになると勧めています。

■ 出席報告

会員数45名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席者31名 事前メイク2名
出席率84.62% 前回出席率 修正なし

■ 理事会報告

小椋文成幹事

1. 『2025-26 年度「職場訪問」「他クラブ訪問」のご案内』の発送について
2. 5 月の行事予定並びにメイクアップ扱いについて
3. 11 月の行事予定とメイクアップ扱いについて
4. その他



■ 地区研修・協議会の報告

(前回の続きから)

③社会奉仕委員会

市川修次 直前会長



社会奉仕委員会に代理として出席させて頂きました。小林地区委員長より、昨年度から各クラブにおいての社会奉仕活動の情報収集を行っており、その情報を共有するようにデジタル化推進委員会と共に地区のホームページに次年度には掲載していくとの話がありました。その情報を活用する事で、更に各クラブの社会奉仕活動の充実を図っていききたいとの事です。今年度の重点事業としては、小林ガバナ一年度の重点目標である「防災関連事業」を「社会奉仕活動」と捉えて、積極的に加わって行きたいとの話です。

④会員増強・DEI 推進委員会

三澤俊明 次期会員増強・プログラム委員長 (代読：小椋文成幹事)

4 月 6 日の Web 会議で、会員増強・DEI 推進委員会では以下の目標によって、次年度事業展開していくことが決まりました。

会員増強委員会委員長 金児 進 (信州友愛 RC)

DEI 推進委員会委員長 二見 光子 (佐久 RC)

委員会の目標

(1) 小林ガバナー年度地区方針に沿って DEI 推進委員会と協働して実践していく

- ・新入会員セミナーおよびクラブ・グループ連携の推進
- ・居心地のよいクラブ創りのための提言と事例提供

(2) より具体的な会員増強策を提供していく

- ・サテライトクラブ（衛星クラブ）の新設支援
- ・クラブ事務運営の合理化とデジタル化推進
- ・新クラブパターンの情報提供（特化奉仕活動・法人・パスポートなど）推進する。

協議内容として出された主な意見

- ・会員の激減が続いている中、会員のモチベーションを上げることが必要。
 - ・今年度2名入れるとか、数値だけの目標になっていないか？
 - ・自分たちのクラブを楽しくする。結果として会員が増える。
 - ・衛星クラブに若い別動隊を作る。（木曽 RC）
 - ・女性会員の獲得にはオープン例会が大事。
 - ・DEI 推進委員会を、どうしたら良いかとした時の相談窓口としたい。
- などがありました。

⑤青少年委員会・危機管理委員会 北原幹子 次期青少年奉仕委員



委員長、また他会員の皆様も都合がつかずで、代わりにに参加をさせていただきます。簡単に2点報告させていただきます。

まず1点目ですが、今年度から重要度を増していくという事で危機管理委員会についてですが、元々は青少年交換プログラムにおいての青少年保護というところが出発だった訳ですが、昨今の DEI も含めハラスメント状況を鑑みましてロータリアンの危機管理という事も重要視していくとの事でした。また、ロータリアンを守る為の危機管理を行う組織という事で RIJYEM（ライジェム）という法人も活用していくとの事で、詳しい内容につきましてはライジェムプラットフォームで検索して下さいとの事でした。

2点目は、各小委員長の発表の中で、塩尻志学館の先生をされている小池インタラクティブ委員長の話を簡単にシェアさせていただきます。

青少年との関わり方という話でしたが、今、青少年の殺人、または自殺者が多いという事が問題視され、長野県も自殺者がトップ5に入っているとの事で、その原因の1つとして、大人世代の人達が青少年に対し、自分の考えや価値観をぶつけている傾向があるのではないかという事で、青少年に対してはゼロベースで、教えるというより、まずは寄り添うというところから始めていただきたいというお話でした。

また、井上会長エレクトが学校に講演に来られた時の話しにも触れられ、子供達が自らの意思で積極的に行っている事に対しても同調圧力ととらえてしまう親世代が少なくないという話しをされたのが印象的で、生徒さん達も真剣に話しを聞いていたという事でした。

⑥米山記念奨学委員会 田中真人 次期米山記念奨学委員長

分科会はオンラインで実施され 29 名の参加者で開催されました。米山記念奨学会は将来に母国と日本の懸け橋となって、国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。また例会やイベントへの出席を通して日本の良さを学んで頂くことの確認がなされました。

課題としては、地区内の各クラブに対して米山奨学制度についてのアンケートを実施したところ、制度への理解の程度に大きな差があることが判りました。また分科会の中で出た意見として、米山奨学制度のあるクラブでも制度に対する理解度がメンバー間で差が大きいこと、奨学生の多くが中国の学生で偏りがあるのではないかと意見がありました。

今後は米山地区セミナーの際には地区委員だけでなく各クラブの米山奨学委員の参加の呼び掛け、また米山奨学制度を理解する上で利用している豆辞典以外の資料があるかどうかを確認し、積極的に利用していくことが確認されました。

⑦ロータリー財団・国際奉仕委員会 吉原弘明 次期ロータリー財団委員長



- ◎補助金申請にあたり、主旨を明確にしてプロジェクトが地域の為になり、また、何に役立つか具体的に記述してほしい事
- ◎委員会・事業日程の説明
- ◎2年前行った「古着でワクチン」の内容及び協力頂いた事のお礼
- ◎4月中に予算審査され予定案が通り決定しましたことの報告

⑧公共イメージ向上委員会 橋爪麻人 次期SAA



委員長の代理出席でした。目標、計画ともに今年度と同様となりますが、今年度以上の効果を目指すということで話し合った結果、①県内小学校へのポスター掲示については、その活動を新聞やケーブルテレビ等で広く定期的に取り上げてもらう様に進めること。②地区大会での広報については、例えば会員増強委員会やデジタル化推進委員会と共同で行って予算をカバーすること。の二点がまとまりました。

⑨デジタル化推進委員会 宮澤豊和 次期デジタル化推進委員長



ロータリー活動をより効率的に進めていく為に、DX化を進めていきたい。伊那中央RCは比較的出来ている方だが、まだFAXでのやり取り等もある。会員の使用状況にもよるが、LINE等の活用を少しずつ進めていきたい。皆様のご協力よろしくお願いいたします。

⑩(地区) 資金推進小委員会 原一馬 次期地区資金推進委員(代読：小椋文成幹事)

最初の本会議 RI会長の挨拶が紹介されていた 印象的な言葉は
ロータリーは「地球上で最も有能なボランティアのチーム」
成長、奉仕、つながりを大切にして「よいことのために手を取りあおう」
「ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的拡がりでもありません。それは会員です」。
また、現在の世界情勢にふれ、「分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となる。」と
いていました。

当日プログラムは、

1時間の本会議の後、1時間の分科会 その後閉会の本会議1時間 計3時間
9つの分科会のうち⑦ロータリー財団委員会・国際奉仕委員会に参加

地区は、25の委員会と11の小委員会がある

すべての委員会、小委員会に事業計画あり

目的・目標 今年度の計画・重点事業 委員会の事業日程

予算は、一般会計5700万円 特別会計は基金も含めると一般会計より大きな金額でした。

・国際奉仕委員会 信州友愛RC乾いぬいみゆ紀委員長から

委員会の目的・目標

当地区における国際奉仕活動の情報提供、及び実際の奉仕活動における実務支援を行い、2600地区全体の国際奉仕活動の活性化を図る といった話しがあり

今年度の計画今年度の計画・重点事業

・各クラブの国際奉仕・国際交流事業について情報を収集、アドバイザーの下委員会内での意見交換、定期的な研修会を行う。

委員会の事業日程の説明

・ロータリー財団委員会 駒ヶ根RC伊藤委員長から

委員会の目的・目標

目的:地区ロータリークラブが地域社会での奉仕活動をより充実、活性化する事業を行うため、ロータリー財団、2600 地区補助金規定に基づき補助金支援を公平公正に行い、また、その財源となる財団寄付の推進を促す。

今年度の計画・重点事業

- ・各クラブの地区補助金申請を、地区補助金マニュアルに則り滞りなく審査し、各クラブが適正な申請を行えるように寄添い協力する

委員会の事業日程の説明がありました

⑪(地区) 財団資金管理会計小委員会

太田明良 次期地区財団資金管理会計副委員長



職業奉仕委員会ではなく地区の財団委員会中の財団資金管理会計小委員会の副委員長という立場もあって、財団委員会に参加しました。同委員会では各小委員会の役割についての概要説明がありました。寄付の重要性について改めての説明やマイロータリーやロータリーカードの普及促進についての話もありました。

私の所属している財団資金管理会計小委員会は地区補助金事業が適正に行なわれたかについての事後的な審査をする小委員会です。通常審査は、審査をする対象組織は自分が所属しない組織を審査するものだと思いますが、同小委員会において私は自クラブである伊那中央ロータリークラブの審査をすることを求められました。お手盛りになっていると疑われないよう、比較的厳しめに審査を終えましたので、ご報告します。

■ 現・次年度委員会の引継ぎと申し送り

各委員会で現年度から次年度への引継ぎ等が行われました。

■ 点 鐘

13:30

次回例会

- 5月20日(火) 点鐘/12:30 場所/海老屋料理店
- ・クラブフォーラム「青少年奉仕委員会」伊那西 IAC 活動紹介
 - ・例会終了後:理事会